

こんにちは!
日本共産党の

小山ゆりえです



小児医療センター

地元説明会を前に緊急学習会

難病患者の保護者 痛切な訴え

県立小児医療センター移転計画に対し存続を求める請願は、蓮田市議会の採択、埼玉県議会で趣旨採択されました。

10月7日の県議会福祉保健医療常任委員会で日本共産党県議が「住民の声をきくこと」を確認、総員で趣旨採択となったものです。

これをうけ来年度基本設計に入りたいとする県は岩槻区と蓮田

【県立小児医療センター
(市議会日より8月号より)】



市で12月中の地元説明会実施を表明。この説明会を前に「小児医療センター問題を考える会」が呼びかけた12月3日の緊急学習会に市民30人が参加しました。難病の子どもを持つお母さんから「新都心は周辺の渋滞が心配。今でも予約をとるのが大変。移転したらもっと大変になる」と不安の声がでました。講師からは「地元の東部北地域と中央地域は周産期地域センターばかりか新生児センターすらなく3次救命救急センターもない医療資源の乏しい地域。移転により医療の空白が更に広がる」と県の医療体制の深刻な現状が指摘されました。

12月17日予定の蓮田での説明会に県は当初請願者のみ40人程度と制限を設けてきましたが、党市議団が抗議し200人規模の会場に変更させました。ぜひ多くの市民に伝えましょう。

市議会12月定例議会…学童保育や簡易児童遊園地などとりあげます



【積水東京ハイム工場近くの簡易児童遊園地なかよしひろば】

蓮田市議会12月定例議会が開かれています。

議案に保育園・学校給食の食材の放射能測定のための補正予算が計上されています。

食材の放射能測定については11月にキャベツ・ほうれん草の測定が行われ、放射性物質は検出されませんでした。したが、様々な食材を利用しているのですから、保護者の不安を取り除くためにもきめ細かな測定が求められます。

今議会、私の一般質問は①学童保育所はお盆休みも開設するように②簡易児童遊園地の管理について③スマートIC開設に伴い、東北自動車道の救急車出動に伴う負担金を徴収する様求める、三問です。いい結果が出せるようにしっかりと質していきたいと思えます。

(小山 ゆりえ)

